

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号 ✓

特開2001-293056

(P2001-293056A)

(43) 公開日 平成13年10月23日 (2001. 10. 23)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
A 6 1 H 7/00	3 2 3	A 6 1 H 7/00	3 2 3 H 3 B 0 8 4
			3 2 3 G 4 C 0 7 4
A 4 7 C 7/38		A 4 7 C 7/38	4 C 1 0 0
7/62		7/62	Z
A 6 1 H 15/00	3 5 0	A 6 1 H 15/00	3 5 0 E

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-115347(P2000-115347)

(22) 出願日 平成12年4月17日 (2000. 4. 17)

(71) 出願人 000136491

株式会社フジ医療器

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

(72) 発明者 真喜志 康樹

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

株式会社フジ医療器内

(74) 代理人 100072213

弁理士 辻本 一義

Fターム(参考) 3B084 DA03 DB01 DB13 DC02 DD07

JA03 JC03 JC12

4C074 AA04 AA05 BB05 CC01 CC17

FF01 GG03

4C100 CA04 CA06 DA04 DA05 EA09

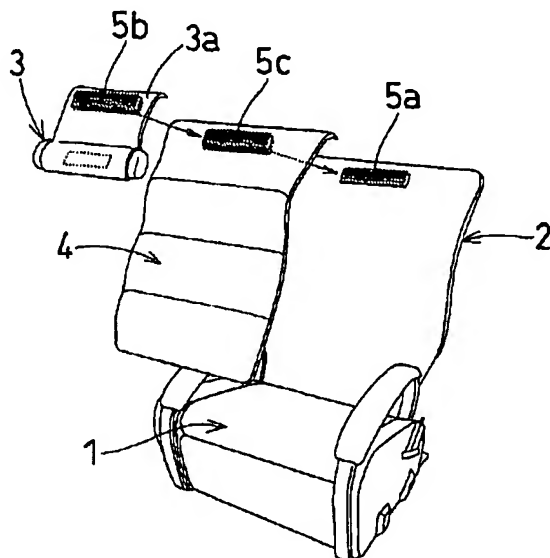
EB05

(54) 【発明の名称】 マッサージ椅子

(57) 【要約】

【課題】 枕を取り外してしまったり、使用者の座高差や座り具合に応じてその枕の位置を調節することができるものとし、首筋に負担がかからず、首筋が凝ってしまうようなことはなく、さらに背もたれに背パッドを装着した場合にも、その背パッドに枕を装着して、枕の位置確認及び位置調節をすることができ、使用者の首の位置を安定させることができるようにしたマッサージ椅子を提供する。

【解決手段】 背もたれ2の上部に、上下位置の調節ができるように枕3を着脱自在として備えたと共に、背もたれ2に背パッド4を着脱自在として備えたものとし、さらにこの背パッド4の上部に、上下位置の調節ができるように前記枕3を着脱自在なものとしている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 背もたれ(2)の上部に、上下位置の調節ができるように枕(3)を着脱自在として備えると共に、背もたれ(2)に背パッド(4)を着脱自在として備えたものとし、さらにこの背パッド(4)の上部に、上下位置の調節ができるように前記枕(3)を着脱自在なものとしたことを特徴とするマッサージ椅子。

【請求項2】 背もたれ(2)の上部の表面に面接着ファスナー(5a)を取り付け、枕(3)の吊り体(3a)の表裏面に面接着ファスナー(5b)を取り付け、さらに背パッド(4)の上部の表裏面に面接着ファスナー(5c)を取り付けたものとしたことを特徴とする請求項1記載のマッサージ椅子。

【請求項3】 背もたれ(2)の内部に施療子を上下動自在に配置したマッサージ機構を装備したことを特徴とする請求項1記載のマッサージ椅子。

【請求項4】 枕(3)にマッサージ用のバイブレータ(6)を内蔵したことを特徴とする請求項1記載のマッサージ椅子。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、背もたれに枕や背パッドが装着されたマッサージ椅子に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、マッサージ椅子の背もたれ内にマッサージ機構を装備し、この背もたれにもたれかかった使用者の背部や腰部などにマッサージを施すようにしたマッサージ機が存在する。

【0003】そして、このようなマッサージ機には、マッサージ椅子の背もたれ上部に、この背もたれと一体化された枕を設けたり、マッサージ椅子の背もたれに背パッドを着脱自在として装着したものが存在する。

【0004】前記背もたれに設けられた枕は、背もたれにもたれかかった使用者の首の位置を安定させて、首筋に負担がかからないようにするものである。また、背もたれに着脱自在として装着された背パッドは、使用者の背中と背もたれの間に介在させることにより、使用者の背中へのマッサージ機構の施療子の当たりを緩和させるようにするものである。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のマッサージ椅子では、背もたれの上部に設けられた枕を取り外すことができないので、使用者によっては当たり心地が気になって枕がないほうが良かったりする場合もあり、また使用者の座高差や座り具合に応じてその枕の位置を調節することができないので、かえって首の位置が不安定になって首筋に負担がかかり、マッサージが施されているにもかかわらず首筋が凝ってしまうことがあるという課題を有していた。

【0006】さらに、上記従来のマッサージ椅子では、背もたれに背パッドを装着した場合には、背もたれの上部に設けられた枕が覆い隠されてしまい、枕の位置確認ができず使用しにくくなったり、使用者の首の位置を安定させる作用がほとんど果たされなくなるという課題を有していた。

【0007】そこで、この発明は、上記従来の課題を解決するものであり、枕を取り外してしまったり、使用者の座高差や座り具合に応じてその枕の位置を調節することができるものとし、首筋に負担がかからず、首筋が凝ってしまうようなことはなく、さらに背もたれに背パッドを装着した場合にも、その背パッドに枕を装着して、枕の位置確認及び位置調節をすることができ、使用者の首の位置を安定させることができるようにしたマッサージ椅子を提供することを目的としてなされたものである。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】そのため、この発明のマッサージ椅子は、背もたれ2の上部に、上下位置の調節ができるように枕3を着脱自在として備えると共に、背もたれ2に背パッド4を着脱自在として備えたものとし、さらにこの背パッド4の上部に、上下位置の調節ができるように前記枕3を着脱自在なものとしている。

【0009】さらに、この発明のマッサージ椅子は、背もたれ2の上部の表面に面接着ファスナー5aを取り付け、枕3の吊り体3aの表裏面に面接着ファスナー5bを取り付け、さらに背パッド4の上部の表裏面に面接着ファスナー5cを取り付けたものとして、背もたれ2の上部に、上下位置の調節ができるように枕3を着脱自在として備えると共に、背もたれ2に背パッド4を着脱自在として備えたものとし、さらにこの背パッド4の上部に、上下位置の調節ができるように前記枕3を着脱自在なものとしている。

【0010】また、この発明のマッサージ椅子は、背もたれ2の内部に施療子を上下動自在に配置したマッサージ機構を装備したものとすることができる。

【0011】さらにまた、この発明のマッサージ椅子は、枕3にマッサージ用のバイブレータ6を内蔵したものとすることができる。

## 【0012】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を、図面に基づいて詳細に説明する。

【0013】この発明のマッサージ椅子は、椅子自体に装備されたマッサージ機構などによって、マッサージが施される場合に使用されるものとしている。このマッサージ椅子の座部1の後方には、角度調節が自在のリクライニング式とした背もたれ2を備えたものとし、この背もたれ2の上部に枕3を着脱自在として備えたものとしている。さらに、このマッサージ椅子は、前記背もたれ2に背パッド4を着脱自在として備えたものとしてい

る。なお、前記枕3は、この背パッド4の上部にも着脱自在なものとしている。

【0014】この発明のマッサージ椅子にマッサージ機構を装備したものとするには、背もたれ2の内部に揉み、叩き作用などをする施療子（図示せず）を上下動自在に配置したものとするればよい。

【0015】前記背もたれ2には、図1に示したように、その上部の表面に面接着ファスナー5aを取り付けたものとしている。前記枕3には、その吊り体3aの表裏面に面接着ファスナー5bを取り付けたものとし、さらに必要に応じて、図2示したように、マッサージ用のバイブレータ6を内蔵したものとしている。そして、背もたれ2の面接着ファスナー5aと枕3の裏面の面接着ファスナー5bとを接着させることによって、図3に示したように、背もたれ2の上部に枕3を着脱自在として備えたものとしている。なお、図に示した面接着ファスナー5a、5bは、横方向にのみ長くしたものとしているが、縦方向にも長くしたものとするれば、面接着ファスナー5a、5bどうしの接着面を縦方向にずらせることにより、背もたれ2の上部に装着した枕3の位置を上下方向に調節することができる。

【0016】前記背パッド4には、その上部の表裏面に面接着ファスナー5cを取り付けたものとしている。そして、背もたれ2の面接着ファスナー5aとこの背パッド4の裏面の面接着ファスナー5cとを接着させることによって、図4に示したように、背もたれ2に背パッド4を着脱自在として装着したものとしている。さらに、この背もたれ2に装着した背パッド4の表面の面接着ファスナー5cと枕3の裏面の面接着ファスナー5bを接着させることによって、図5に示したように、背もたれ2に装着した背パッド4の上部に枕3を着脱自在として備えたものとすることができる。なお、図4に示した面接着ファスナー5cは、横方向にのみ長くしたものとしているが、縦方向にも長くしたものとするれば、面接着ファスナー5b、5cどうしの接着面を縦方向にずらせることにより、背もたれ2に装着した背パッド4の上部に装着した枕3の位置を上下方向に調節することができる。

【0017】また、図3に示したような背もたれ2の上部に装着した枕3の表面の面接着ファスナー5bと背パッド4の裏面の面接着ファスナー5cとを接着させることによって、図7に示したように、枕3を装着した背もたれ2に背パッド4を着脱自在として装着したものとすることもできる。

【0018】前記面接着ファスナー5a、5b、5cは、その表面に多数のフック状の支持体を備えたものと、多数のループ状の支持体を備えたものの何れかとしており、これらを組み合わせることにより互いに接着するものとしている。

【0019】例えば、背もたれ2の面接着ファスナー5

aを、鉤状の支持体を備えたものとした場合には、この面接着ファスナー5aに接着する枕3の裏面の面接着ファスナー5bはループ状の支持体を備えたものとし、枕3の表面の面接着ファスナー5bは鉤状の支持体を備えたものとする。そして、前記背もたれ2の面接着ファスナー5aに接着する背パッド4の裏面の面接着ファスナー5cはループ状の支持体を備えたものとし、この背パッド4の表面の面接着ファスナー5cは鉤状の支持体を備えたものとするればよい。このようにすれば、背パッド4の表面の面接着ファスナー5cに、前記枕3の裏面の面接着ファスナー5bを接着することができるものとなる。また、背もたれ2の上部に装着した枕3の表面の面接着ファスナー5bにも、背パッド4の裏面の面接着ファスナー5cを接着させることができるものとなる。なお、前記背もたれ2の面接着ファスナー5aを、ループ状の支持体を備えたものとした場合には、前記枕3の面接着ファスナー5bおよび背パッド4の面接着ファスナー5cのそれぞれの鉤状の支持体、ループ状の支持体は、前記したのと逆にすればよい。

【0020】さらに、前記面接着ファスナー5a、5b、5cは、前記したようなフック状の支持体やループ状の支持体を同一面に混在したものとするれば、フック状の支持体を備えたものと、ループ状の支持体を備えたものを組み合わせるようにしなくても、互いに接着するものとなる。

【0021】また、前記面接着ファスナー5a、5b、5cは、前記したようなフック状の支持体やループ状の支持体を備えたものに限らず、例えば、剥離自在とした粘着層を備えたものとすることもできる。

【0022】以上のように構成したこの発明のマッサージ椅子を使用するにあたっては、例えば図8に示したように、背もたれ2に背パッド4を装着し、さらにこの背パッド4の上部に枕3を装着する。この場合、背パッド4の上部に装着した枕3は、これらの面接着ファスナー5a、5bどうしの接着面を縦方向にずらせることにより、使用者の座高や座り具合に応じた位置に調節すればよい。そして、使用者の首筋を枕3に当てることにより、首を安定した状態にし、背もたれ2に装備されたマッサージ機構などによって、マッサージを施せばよい。また、枕3にマッサージ用のバイブレータ6を内蔵したものとしている場合には、このバイブレータ6を作動させれば、前記マッサージ機構による背部や腰部のマッサージと共に、首筋のマッサージも同時に施すことができるものとなる。

【0023】

【発明の効果】この発明のマッサージ椅子は、以上に述べたように構成されているので、枕を取り外してしまったり、使用者の座高差や座り具合に応じてその枕の位置を調節することができるものとし、首筋に負担がかからず、首筋が凝ってしまうようなことはなく、さらに背も

5

6

たれに背パッドを装着した場合にも、その背パッドに枕を装着して、枕の位置確認及び位置調節をすることができ、使用者の首の位置を安定させることができるものとなった。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のマッサージ椅子の背もたれに面接着ファスナーを取り付けた状態を示す斜視図である。

【図2】この発明のマッサージ椅子の枕の断面図である。

【図3】この発明のマッサージ椅子の背もたれに枕を装着した状態を示す斜視図である。

【図4】この発明のマッサージ椅子の背もたれに背パッドを装着した状態を示す斜視図である。

【図5】この発明のマッサージ椅子の背もたれに背パッド、枕の順でこれらを装着した状態を示す斜視図である。

【図6】この発明のマッサージ椅子の背もたれに背パッド、枕の順でこれらを装着する場合の分解斜視図である。

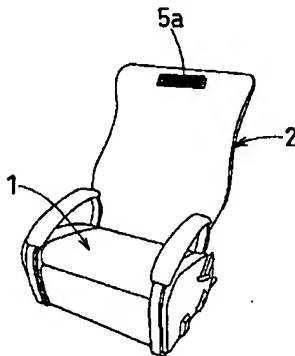
【図7】この発明のマッサージ椅子の背もたれに枕、背パッドの順でこれらを装着した状態を示す斜視図である。

【図8】この発明のマッサージ椅子の使用状態を示す斜視図である。

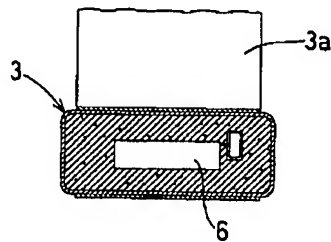
【符号の説明】

- 2 背もたれ
- 3 枕
- 4 背パッド
- 5a 面接着ファスナー
- 5b 面接着ファスナー
- 5c 面接着ファスナー
- 6 バイブレータ

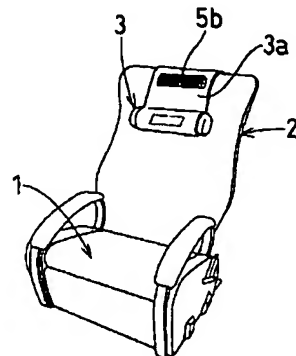
【図1】



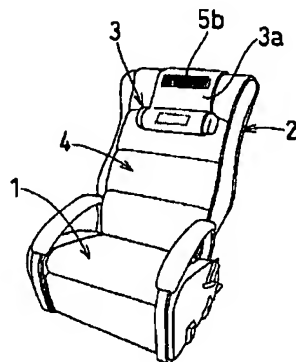
【図2】



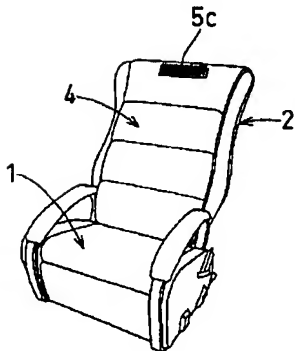
【図3】



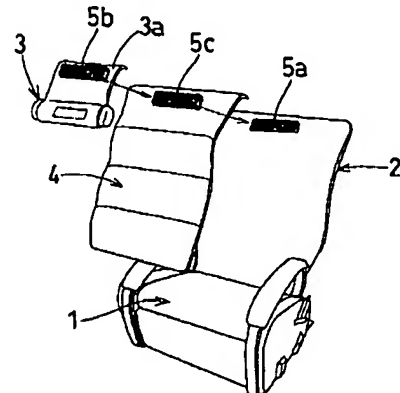
【図5】



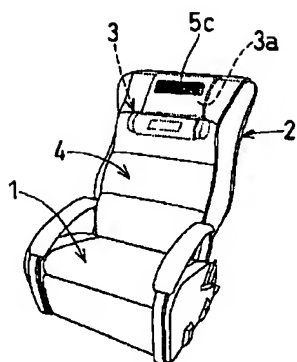
【図4】



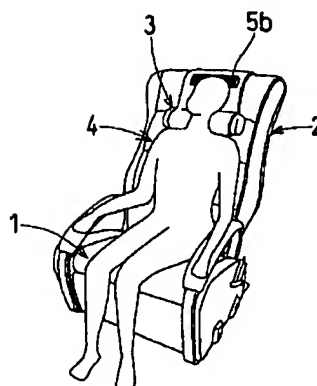
【図6】



【図7】



【図8】



---

フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>7</sup>  
A 6 1 H 23/02

識別記号  
3 3 4  
3 3 6

F I  
A 6 1 H 23/02

テーマコード(参考)

3 3 4  
3 3 6

PAT-NO: JP02001293056A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001293056 A  
TITLE: MESSAGE CHAIR  
  
PUBN-DATE: October 23, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MAKISHI, YASUKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJI IRYOKI:KK	N/A

APPL-NO: JP2000115347  
APPL-DATE: April 17, 2000

INT-CL A61H007/00 , A47C007/38 , A47C007/62 , A61H015/00 ,  
(IPC): A61H023/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a massage chair so constituted that a pillow can be detached or the position of the pillow can be adjusted corresponding to a difference in user's sitting height or a user's sitting feeling to prevent the load to the scruff of the neck and the stiffness of the scruff of the neck and the position of the pillow can be confirmed and regulated by mounting the pillow on a back pad even in such a case that the back pad is mounted on a backrest to stabilize the position of user's neck.

SOLUTION: The pillow 3 is provided on the upper part of the backrest 2 in a freely detachable manner so as to regulate the position of the pillow up and down and the back pad 4 is mounted on the backrest 2 in a freely detachable manner and the pillow 3 is attached to the upper part of the back pad 4 so as to be positionally regulable up and down.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO